

「ドミナント戦略」

かつて県知事が「セブンはなくても『いい気分』と、独特のユーモアで宣伝していた鳥取県にセブンイレブン第1号店がオープンしたのは2015年10月でした。昨年末現在では同県内に12カ店がオープン、うち8店舗は米子市内という集中出店ぶりを見せました。

1. 「ドミナント戦略」とは？

「ドミナント (dominant)」とは、「優勢」「支配的」などを意味します。マーケティングにおいて、特定の地域に集中的に出店する戦略をドミナント (出店) 戦略といいます。コンビニエンスストア (コンビニ) 業界で採用されることがよく知られていますが、都道府県単位での出店計画となる場合もあるため「〇〇県にコンビニ△△は1店舗もない」ということがあります。

2. メドミナント戦略の主なメリット・デメリット

(1) メリット

- 一定地域に短期間で複数店舗を出店することでチェーン名の認知度がアップ、同業者等に対する競争力が向上し市場占有率アップが期待できます。
- 配送センターからの配送効率が良くなり、また、配送時間短縮により新鮮な商品配送が可能となります。
- 地域を管理する本社担当者の管理・経営指導が容易となります。

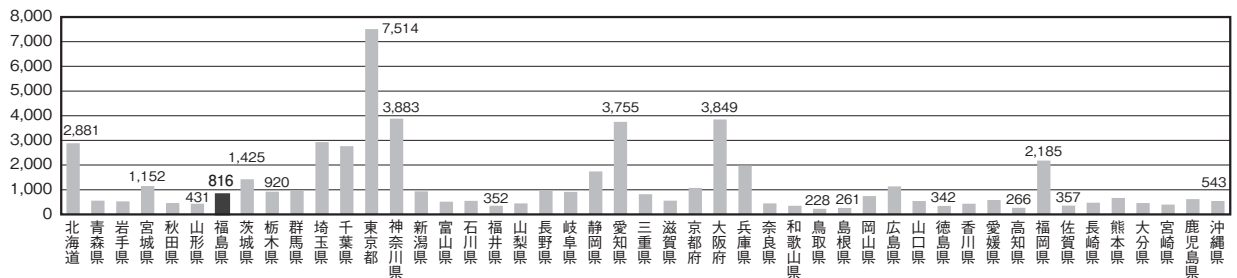
(2) デメリット

- 店舗同士でお互いの顧客を奪い合う (カニバリゼーション：共食い) 可能性があります。
- 地震や洪水等の災害発生時に、多くの店舗が同時に被害を受ける可能性があります。
- 近隣への競合大手チェーン進出などにより、自チェーン店すべてが同時に大きな影響を受ける可能性があります。

3. セブンイレブン進出後、鳥取県知事の発言は？

セブンイレブンが自県に進出したことを受け、鳥取県の平井知事は「セブンができて『いい気分』と言い換えたそうです。同知事は他にも「スタバ (コーヒーチェーン) はないが日本一のスナバ (砂丘) がある」「カネはないけどカニはある」などの発言で有名です。お見事！！

<参考> 都道府県別コンビニエンスストア店舗数一覧表 (2016年3月末)



出典「都道府県データランキング」より

閑話ひとつ

- ▶ 「光陰矢の如し」といいますが、ついこの前、新しい年を迎えたと思っていたら、もう3月です。ついでに申し上げますと、私が小誌編集人を担当して今月で丸2年になります。本当に月日が経つのははやいものです。
- ▶ 編集を担当するようになって漢字の「誤使用」が気になって仕方ありません。テレビのテロップなどに「間違いでは？」と思われるものが少なくないのです。特に気になるのが「早い」と「速い」ですね。「朝が早い」のように時刻や時期などの場合は「早い」で、「速い車」などスピードに関する場合は「速い」ですが、間違えて使われていることがよくあります。でも、食べるスピードを競う「はや食い」は「速食い」と思いきや、「早食い」と表記する場合がほとんどです。「ニホンゴハムズカシイデスネ！」
- ▶ ちなみに、冒頭に書いた「月日が経つのははやい」は「早い」？それとも「速い」？？数百年が一瞬で過ぎた経験をお持ちの浦島太郎さん、「早速 (さっそく) のご回答」を！ (MS)